

# 旭川小学校「総合的な学習の時間」における 森林教室 in まんたらめ



令和4年  
6月28日

東北森林管理局では、平成27年度より秋田市立旭川小学校5年生の「総合的な学習の時間」に森林教室を行っています。この森林教室は毎年、秋田市太平山自然学習センターまんたらめで実施しており、令和4年度は「森と木の学習」、「丸太切り体験」、「種の飛び方実験」の3つのメニューを体験していただきました。



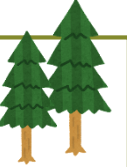
## MENU 1

### 森と木の学習

森林の役割や管理の仕方、木材の利用について紹介しました。カーボンニュートラルなど少し難しい内容についてもお話ししましたが、子供たちは、この学習を通して鉛筆や机など自分の身の回りに木製品があふれていることを再認識していました。



### 子供たちの感想



- 木働きを知って、地球温暖化の防止に協力したいと思った。
- 木について色々知ることができた。
- 森には地球温暖化を防ぐ役割があることを知って、すごいと思った。
- 木で作られた製品を長く使うことは地球にやさしいと知ったので、木製品を使おうと思った。

## MENU 2

### 丸太切り体験

はじめに、昔の大きいノコや現代のチェーンソーを見たり触ったりしながら、木を切る道具の進化について学び、その後、実際にノコを使って丸太の輪切りを体験しました。子供たちは、なかなか切れずに苦戦しながらも、最後まで力強く切っていました。



### 子供たちの感想



- ノコギリやオノなどの重さが分かった。
- 昔と今の道具を比べることができておもしろかった。
- 昔の道具でも、木を切りやすくする工夫がされているのが分かった。
- 丸太切りは結構硬くて、大変な仕事をしているんだなと思った。

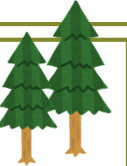
## MENU 3

### 種の飛び方実験

様々な樹木の種の形や大きさ、運ばれ方について、クイズを交えて紹介しました。また、折り紙やクリップを使って種の模型を作って飛ばし、種の飛び方を観察しました。子供たちは、くるくる回りながら落下するカエデやマツの種に興味津々でした。



### 子供たちの感想



- 自分で作って飛ばして楽しかった。
- 植物の種にはこういう飛び方があるのかと思った。
- 種がどのようにして地面につくのか、種の工夫を知ることができた。
- 種は自然や動物を利用して頑張っているみたいでおもしろかった。